

2015 年 10 月 30 日

ほしざらサロン 9 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2015 年 9 月 19 日（土）

19:30～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：篠原、角、宮田、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

見学者：草宮さん、砂田さん

（計 10 名）

この日、サロンの前に 9 月 26 日のほしざらウォッキングの事前準備を行いました。スタンプカードの景品である太陽と地球の缶バッジ¹をそれぞれ 55 個ずつ製作し、また金賞・銀賞・銅賞の認定証のカッティング及びラミネート加工も行いました。

1. 9 月 26 日（土）のほしざらウォッキング「お月見」について

前回 8 月のサロンで、おもに使用機材や観望対象、そしてスタンプカードの景品²について話し合いました。今回のサロンでは、昨年度のお月見ウォッキングの反省を振り返りながら、具体的に使用する機材に付くスタッフ数の割り振りや、お月見ウォッキングで毎回使用するスクリーンの改善点などについて話し合いを行いました。

¹ ほしざらサロン 8 月議事録を参照。

² スタンプ対象のほしざらウォッキング（5, 6, 7, 8, 9 月）では毎回事前に配布しているカードにスタンプを押していく、その数に応じて最後に景品として認定証や缶バッジなどを贈っています。

(1) 使用機材とその担当人数

当日に参加可能なスタッフ数を考慮して、以下に使用機材とその担当人数を記述します。

- 対空双眼鏡 → 1名で2台担当
- 新タカハシ望遠鏡 → 1名
- タカハシ望遠鏡 → 1名
- スタンプカード → 職員1人＋スタッフ約2名（認定証）

スタッフ数に余裕があれば、2台のビクセン望遠鏡を出すことも検討しています。対空双眼鏡では月の全体像を、またタカハシ望遠鏡2台では倍率を高めにして拡大像を見せる予定です。

(2) スクリーンについて

毎年中秋の名月のほしごらウォッチングでは、宗像ユリックスの風の丘にある高さ約3mの石のモニュメント（以下、柱）に白い布をロープで四隅にくくりつけ、巨大なスクリーンを作っています。そしてそのスクリーンを使用して月の映像を流し、ブルーシートを敷いて来場者がのんびりできるような空間を作っています。

しかし、そのスクリーンはいくつかの問題点があります。

一つ目は、素材が布であるため風などの外乱によってスクリーン映像が安定しないという点です。

二つ目は、柱が約1m四方であるためスクリーン上部の2カ所をロープで固定する際に腕が届かず非常に時間がかかるということです。

おもにこの2点を改善するため話し合いを行った結果、いくつかの案が出たので箇条書きで記述します。

- スクリーンの上下にポールを通し、柱にものほし台をくくりつけ、ポールを固定する。
- スクリーンが受ける風の抵抗を減らすため、スクリーンにスリットを入れる。
- スクリーン上部にロープを通し、たわみが無いようラチェットで締める。
- 壁が凸凹なので、きつく締めるのは難しいかも知れない。

以上のような案から結果として、スクリーン上部のみにポールを通し、ロープで柱に固定する方法をとることになりました。

[補足]

当日のウォッチングでは、篠原さん、宮田さん、山田（明）さん、砂田さん、草宮さん、高尾さん、平さん、角さん、立石さんが参加されました。来場者は 150 人で、スタンプカード金賞受賞者 19 人、銀賞受賞者 9 人、銅賞受賞者 12 人という結果になりました。スクリーンも風で映像が見えづらくなることがほとんどなくなり、良い結果となりました。しかし、スクリーンとなるシーツに少しシワがあるため、アイロン掛けをする必要があるということになりました。

また、スタッフ数の人手不足が懸念されていましたが、当日は多くのスタッフの参加がありました。本当にありがとうございます。

2. 今年度のほしざら合宿について

今年度のほしざら合宿は、10月 10 日（土）～12 日（月）の日程で、清和高原天文台で行われます。合宿のリーダーについては、今年度は参加者が少ないためリーダーは無くてもいいのではないか、ということになっています。2 日目の日中の過ごし方は未定です。

機材はタカハシ望遠鏡と対空双眼鏡を持って行く予定です。参加者全員が現地集合であるため、職員で準備を行い 13：00 過ぎにユリックスを出発予定です。

[補足]

高木さんが合宿に参加されることになり、13：00 ユリックス出発予定者は高木さんと職員 2 名になりました。（〆切は過ぎましたが、収容人数にまだ少し余裕があったため、追加で参加希望の方を受け入れました。）

3. クリスマス時期の活動について

今年度のクリスマスの活動について話し合いました。

以前より、クリスマスシーズンにほしざらスタッフ中心で考えた企画をいくつか行ってきました。しかし、参加できるスタッフ数が年々減少し、現状ではあまり実施できなくなっています。

今年度のプラネタリウムでは昨年度に引き続き「クリスマスのおくりもの」の 2 作目「～プロキオンぼうやとまほうつかい～」のリバイバル投影を行うことが決定しています。ほしざらスタッフの企画としては、1 作目の紙芝居を実施しようかということとも案として上がっています。それに伴い、紙芝居の語り手をどうするか、という

ことで、スタッフの音声を録音したものを流すか、当日に可能であれば生で話すか、今後さらに検討が必要です。山田（明）さんの方からそのことについてほしづラボの掲示板のほうで呼びかけていただいているので、是非いろいろなご意見よろしくお願ひします。

4. 今後の活動予定について

- 9月 26日（土） ほしづらウォッキング「お月見」
- 10月 10～12日 ほしづら合宿
- 10月 17日（土） ほしづら友の会第7回「太陽の観察」9:00～11:00
出張観望会@岡垣町公園通り西区子ども会 17:30～事務所集合
- 10月 18日（日） 出張観望会@日の里地区コミュニティ 16:30～事務所集合
- 10月 30日（金） 出張観望会@宮若市立山口小学校 18:00～事務所集合
- 10月 31日（土） ほしづらサロン

~~~~~  
今回のサロンではおもにお月見ウォッキングについて話し合いを行いました。次回のサロンでは、今年度の反省と、それを踏まえた来年度に向けてのことをそろそろ考えていきたいと思います。また、クリスマスの活動で検討中の「紙芝居」について、様々な意見を掲示板の方に書き込みをよろしくお願いします。

次回の「ほしづらサロン」は、10月 31日（土） です。